

緑丘会札幌支部有志&女子部会主催 クリスマス会 報告書

平成 26 年 12 月 25 日
平成 18 年卒 須川 正啓

1. 開催日 平成 26 年 12 月 6 日 (土) 12:00~14:30
 2. 場所 TKP ガーデンシティ札幌駅前 (札幌市中央区北 2 条西 2 丁目)
 3. 出席者 (卒年、敬称略) 53 家族 77 名 (中学生以下の子ども 22 名)
- S41 舟本 秀男
S49 小山 高史
S54 福井英美子 (幹事)
S55 成松 郁子 (幹事)
S57 福井 郁子 (幹事)
S57 吉田 幸弘
S57 中南 宣夫
S58 平田 尚美 (幹事)
S59 西岡 修
S62 小西 一郎 (幹事 お子さんと参加)
S62 昆野 照美
S63 沼田 博光
S63 川中加津子 (2 次会から)
H 1 岩見 真彦
H 1 谷口 知子
H 2 谷口 晶彦 (お子さんと参加)
H 2 小松 丈 (2 次会から)
H 3 宮川 司
H 3 廣川 浩司
H 5 八十島 忍 (幹事)
H 5 藤原まなみ
H 6 鴨田美抄子
H 6 石田 祥代
H 6 三宅 英彦 (幹事)
H 6 朝倉 晃代 (お子さんと参加)
H 6 山田 安彦
H 7 木村 一哉
H 7 寺井 貫生 (幹事)

H 7 佐伯 志保 (お子さんと参加)
H 7 林 麻由子 (お子さんと参加)
H 7 高橋 真美 (お子さんと参加)
H 7 歌原 邦芳 (幹事)
H 7 菊池 千春 (お子さんと参加)
H 7 土合 啓明 (お子さんと参加)
H 8 橋本 潤美 (ご主人、お子さんと参加)
H 8 久保田 優
H10 安田 径央
H10 須田 美貴
H10 米倉 弘之 (お子さんと参加)
H11 鈴木 均 (お子さんと参加)
H12 百田 希望 (幹事)
H12 石田 絵美
H13 菊地 圭児 (幹事)
H14 吉田 佳世
H15 田中 未来 (お子さんと参加)
H15 長谷川千尋 (お子さんと参加)
H15 小室 陽介 (奥様、お子さんと参加)
H16 狩野 雅子 (お子さんと参加)
H18 須川 正啓 (幹事)
H20 佐藤真美子 (幹事)
H24 遠藤 真彩 (幹事)
H24 安 敬美
H25 成田 由和
H25 後藤 智生

4. 開催趣旨

7月の「暑気払い会」など、今年もさまざまな企画を開催しましたが、年の最後を飾るイベントとして女子部会のみなさんと有志メンバーのコラボレーションによる企画を実施しました。企画を通じ、同窓の仲間はもちろんのこと、ご家族との親睦も深めてもらうことを趣旨としています。

5. 内容

(1)「あの人」が1年ぶりに帰ってきた！

きょうは一足早いクリスマス。大人も子どももみんなワクワクする1日の始まりです。会場にはクリスマスツリーが飾られ、クリスマスムード一色です。参加者は昨年よりもぐっと増え、会場には22名のお子さんを含む77名が集まってくれました。

クリスマス会が始まってすぐ、リンリンリン…と、遠くから鈴の音が。最初に気がついたのは、司会の百田希望さん(H12卒)。「誰が来たのかな？」子どもたちに問いかけます。誰だろう？もしかして…。

「メリークリスマス！！」突然ドアが開き、現れたのはサンタクロース！！今年のクリスマス会以来、1年ぶりにやってきてくれました。子どもたちは大喜び！満面の笑みでプレゼントを受け取っていました。

ここからは子どもたちにはナイショの話。サンタクロースの正体は三宅英彦さん(H6卒)。昨年に引き続き、衣装持参でサンタクロース役を買って出てくれました。イベントを盛り上げていただき幹事一同、深く感謝しております。



(写真左) サンタさんからプレゼントをもらう子どもたち

(写真右) 司会の百田さん、開会宣言

(2) 開会～歓談

サンタクロースも登場し、一気にクリスマスモードに突入したところで、今回の参加者最年長、商大のレジェンド、舟本秀男さん（S41 卒）の「メリークリスマス！」のご発声で乾杯し、しばしの歓談に入りました。

テーブルを囲み、お酒を注ぎ合ったり、言葉を交わしているうちに少しずつ打ち解け、交流の輪が広がっていきました。

これだけでも十分楽しいのですが、今回も昨年同様、福井副支部長率いる女子部会の企画によるイベントです。女性の視点から、もっと参加者のみなさんに楽しんでもらえるような細かな仕掛けがあちこちにありました。例えば、みんなに楽しんでもらうには自分たちが楽しまなくちゃ、というわけで、サンタ帽やトナカイ角のカチューシャを着用していました。みんな似合っていましたね（笑）。

クリスマスの主役である子どもたちにも楽しんでもらえる仕掛けも用意していました。会場の一角にキッズコーナーを設け、アニメの DVD を見たり、絵本を読んだりできるようにしました。また、バルーンアートのコーナーも登場。商大の現役学生の協力のもと、バルーンでさまざまな作品が制作され、子どもたちも喜んでくれたようです。



舟本さんの乾杯



キッズコーナー

(3) おたるクイズ

歓談もひと段落したところで、メインイベント第1弾のはじまりです。

クイズの進行は、成松郁子さん（S55 年卒）に交代。第2回おたるクイズの開幕です。小樽には「おたる案内人検定」というご当地検定があり、女子部会に合格者がいらっやいます。学生時代を過ごした街ですが、案外知らないことばかり。この機会に同窓生のみなさんにも小樽についていろいろ知ってもらおうということで昨年引き続き企画しました。

問題はすべて3択。たった1問の不正解で即失格という厳しいルールですが、参加者のみなさんは果敢にチャレンジしていました。

「地獄坂の勾配は何%？」など、難問・奇問のオンパレード。実力で勝ち抜いていく人、

カンをはたらかせて正解を積み重ねる人、ヒソヒソ話(?)しながら答えを探る人…。回答方法も人それぞれでした。最後まで勝ち残った10名には賞品として、あまとうのお菓子セット、じょっぱり亭のあんかけ焼きそばセットが授与されました。

クイズを趣味としている筆者ですが、正直なところ難問ばかりで手こずりました。間違っているであろう選択肢を消去するなど、なんとか正解にたどりついて最後の10名に滑り込みましたが、その次の問題は間違いました。運も味方してくれましたね…(汗)。



司会の成松さん(中央)



クイズの正解で一喜一憂

(4) みんなで歌おうのコーナー

メインイベント第2弾は初登場、楽しいクリスマスソングを一緒に歌おうという企画。

歌のお姉さんとして登場したのは百田希望さん。今回は「あわてんぼうのサンタクロース」「赤鼻のトナカイ」、そして今年を代表する歌、アナと雪の女王の挿入歌「ありのまま」の合計3曲をみんなで熱唱しました。「ありのまま」は特に今年ブームとなったせいも、子どもたちの歌詞を見ずにスラスラ歌える姿が印象的でした。

歌の後は、踊りもなければ!ということで、今年大流行しているアニメ「妖怪ウォッチ」の「ようかいたいそう」を行いました。

この「ようかいたいそう」で子どもたちのボルテージは最高潮に。当初の予定では、ようかいたいそう終了後、歓談の予定でしたが、子どもたちから「延長リクエスト」が殺到。これだけでは足りず「ゲラゲラポーのうた」など合計3曲をさらに追加しました。子どもたちのパワーに大人が圧倒され、同時に今年の妖怪ウォッチのあまりの大流行ぶりに驚いたひとコマでした。



歌のお姉さんとうたおう！



筆者も必死でがんばった、ようかいたいそう

(5) 若人逍遥の歌～閉会挨拶

商大の良いところ、それは「人のつながり」です。そのつながりを確かめるために欠かせない儀式。同窓生が1つの円陣を組み「若人逍遥の歌」を斉唱することです。これぞ100年以上の歴史を有する小樽商科大学の伝統といっても過言ではないでしょう。

第74代応援団副団長でもある八十島忍さん（H5卒）の先導で全員が肩を組んで1番を歌った後、フレフレ緑丘会のエールが切られました。

楽しかったクリスマス会も終了の時間が近づいてきました。最後は幹事を代表し、今回の幹事長である寺井貫生さん（H7卒）が閉会の挨拶を行い、お開きとなりました。

(6) 解散

すべての日程を終え、2次会に参加する人、家路につく人それぞれに分かれて解散しました。参加して下さったみなさま、本当にありがとうございました。次回、2月11日の新年交礼会でお会いしましょう！



(7) 2次会以降、エンドレスな戦いがそこにはあった

クリスマス会が終了した後、15:00 から同ビル 1F のカフェテリアにて 2 次会を開催しました。クリスマス会では話し足りなかったようで、あちこちで楽しい会話が繰り広げられ、余韻に浸っていました。

2 次会では、誕生日が偶然にも 12 月 8 日（クリスマス会の 2 日後）のお子さんがいたことが判明！急きよではありましたが、メッセージ付きの誕生日ケーキが用意され、参加者全員で誕生日をお祝いしました。

その後も有志で宴は続きます。3 次会はホルモン店、4 次会は居酒屋、5 次会も居酒屋で行われ、全員が解散したのは日付が変わった深夜 1 時すぎ。12 時間以上に及ぶ楽しく長い 1 日（それどころか 2 日にわたっています）が終わりました。



余韻に浸る 2 次会



クリスマス会はまだ終わらない！